

競技注意事項

1. 本大会に適用する競技規則は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則による。

(1) ハードルの区分と高さは次の通りとする。

| 区 分 | 一般 (高さ/距離) | 中学 (高さ/距離) |
|----------|--------------|--------------|
| 男子 110mH | 1.067m/9.14m | 0.914m/9.14m |
| 女子 100mH | 0.838m/8.50m | 0.762m/8.00m |

(2) 投てきの区分と重量は次の通りとする。

| 区 分 | 男 子 | | | 女 子 | |
|--------|---------|--------|---------|----------|---------|
| | 一般 | 高校 | 中学 | 一般高校 | 中学 |
| 砲 丸 | 7.260kg | 6.0kg | 5.0kg | 4.0kg | 2.721kg |
| 円 盤 | 2.0kg | 1.75kg | 1.5kg | 1kg (共通) | |
| ハンマー | 7.260kg | 6.0kg | なし | 4.0kg | |
| ジャベリック | | | 0.300kg | | 0.300kg |

2. 競技用具は、棒高跳のポールを除き、主催者の用意した物を使用する。

3. ①招集所は北器具庫前付近に設置する。

②招集開始(点呼開始)時刻は設けない。競技者が招集所に来た時点で点呼・手荷物確認等を行う。
競技者は**招集完了時刻の5分前までに点呼を受けること。**

③招集所で点呼を受けた競技者は、現地集合時刻までに各競技場所に移動すること。**ただし6組以上ある競技についてはプログラム記載の現地集合時刻までに集合すること。**

| 競技・種目 | 招集完了時刻 | 現地集合時刻 |
|----------------|----------|----------|
| トラック競技 | 競技開始20分前 | 競技開始10分前 |
| フィールド競技(棒高跳以外) | 競技開始40分前 | 競技開始30分前 |
| 棒 高 跳 | 競技開始50分前 | 競技開始40分前 |

④棄権する場合は招集完了時刻までに棄権届を招集所に提出すること。

⑤招集完了時刻に別種目に出場している場合は、二種目同時出場届を招集完了時刻までに招集所に提出すること。

4. 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。ただし女子棒高跳の練習および開始の高さは当日決定する。*男女棒高跳の練習の高さは2mから50cm毎に設定し、状況に応じて審判長が決定する。

| | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
|--------|-------|------|------|------|------|------|---------|
| 男子 走高跳 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 1.65 | 1.70 | 1.75 | 以後 5cm |
| 男子 棒高跳 | * | 2.80 | 3.00 | 3.20 | 3.40 | 3.60 | 以後 10cm |
| 女子 走高跳 | 1.20 | 1.25 | 1.30 | 1.35 | 1.40 | 1.45 | 以後 3cm |
| 女子 棒高跳 | 2.00* | 2.20 | 2.40 | 2.60 | 2.70 | 2.80 | 以後 10cm |

5. 長さを競う跳躍競技・投擲競技は**3回試技**とする。

6. 練習会場については以下のとおりとする。

(1) 風除室について

ストレッチとダッシュのみの使用を認める。風除室の壁側をストレッチスペース、走幅跳ピット側をダッシュスペースとする。ジョグやドリル等は競技場周辺で安全に配慮して行うこと。スターディングブロックとハードルは主催者が準備する。ダッシュスペースでの私物を用いた練習は禁止する。

(2) 競技中のトラック使用について

競技の支障のない限りバックストレートの使用を認めるが、周回競技中は不可とする。なお、棒高跳競技中は十分配慮して行うこと。

(3) 投擲競技について

練習会場がないため、早めに招集して競技会場で公式練習することになる。安全に配慮し、競技役員の指示に従って練習を行うこと。

7. その他

(1) 競技中の事故について主催者は応急処置を行うが、以後については各自の責任で対応すること。